



三重県ユニセフ協会機関誌

# みえユニセフレター

Mie Unicef Letter 2016

 Vol. 8  
2016.07

## 副会長が交代いたしました

平成27年6月に三重テレビ放送の代表取締役社長に就任いたしました。

入社は東海テレビ放送です。三重テレビ放送には平成26年からの在籍です。東海テレビ放送の時代は、報道部門で長く過ごしました。特に1991年にはヨーロッパのウィーン支局を開設し、3年間特派員として活動しました。

当時は、ベルリンの壁崩壊以降のヨーロッパ激動の真最中でした。赴任してすぐに、旧ユーゴスラビア内戦が起これ、「世界の火薬庫」と言われたバルカン半島は、民族と宗教の対立が先鋭化し、多くの犠牲者が出ました。

また息つく間もなく、旧ソ連で衝突が起き、この混乱は拡大して、ソ連邦の解体へと向かいました。ソ連崩壊の歴史的瞬間をカザフスタンの首都アルマトイで取材しましたが、まさに戦後冷戦終焉の場に居合わせたこととなります。

その他にも、ルーマニア、ポーランド、ハンガリーといった東欧諸国取材しましたが、当時の旧ソ連・東欧諸国の貧しさが強く印象に残っています。中でも、子どもたちの生活環境は、胸をつかれるものがありました。靴がなく、はだしで過ごす子どもたち、食べ物がなく痩せ細った子どもたち。

今ではこれらの国々は生活レベルも上がり、当時のようなことはありませんが、ほんの25年前には、東ヨーロッパでそのような光景が日常的に見られました。混乱が起きてまず被害者となるのは子どもたちです。残念ながら今も世界には、混乱と無秩序な状況が各地で起きており、苦しんでいる子どもたちが大勢います。

ユニセフの活動を通じて、未来を担う子どもたちの健康と幸せを守っていくことに貢献できるよう、努力していきたいと思っております。



三重テレビ 代表取締役社長 長江 正

## 日本ユニセフ協会 団体賛助会員様（敬称略）

井村屋グループ(株)	JAグループ三重	生活協同組合コープみえ	みえ虹の会
日本トランスシティ(株)	万協製薬(株)	(株)百五銀行 (株)三重銀行	三重交通(株)
	三重県生活協同組合連合会	三重大学生活協同組合	

# 活動報告 (2015年12月～2016年6月)

## 三重県ユニセフ協会は設立3周年を迎えました

### 三重県総合文化センターで記念イベントを開催

12月20日(日)に開催した3周年記念イベント「ユニセフのつどい」では元国連職員の久木田 純さんの講演「国連職員の人生計画」の他、三重ジュニア管弦楽団による演奏が行われました。

### 年末街頭募金 (ハンド・イン・ハンド)

第37回目を迎えたユニセフハンドインハンド募金「すべての子どもに5歳の誕生日を」をテーマに掲げ活動しました。三重県下9会場で112,465円の募金をお寄せいただきました。

### 2015年度県協会経由募金総額

59件、総額 **7,472,341円**  
外国コイン、総重量 **4.9Kg**

ガールスカウトと  
ともに募金活動  
(鈴鹿ハンター店)



## 学校・企業からお寄せいただいた募金 ありがとうございます

### 桑部小学校

募金の受け取り & 学習会

募金額 **32,500円 (2月9日)**



### 株式会社マツザカ

#### 世界の子どもの命を救おう！ 1万人プロジェクト



弊社所属の家庭用お客さま係、約200名全員が平成27年4月から1年間を掛けて、お家の中のハウスダストが原因で起こる小児喘息やアトピー性皮膚炎など、アレルギー疾患から地域(地元)の子どもを守るために「健康おそうじ紙芝居」を使って各ご家庭を一軒一軒訪問して見ていただきました。

そして、地域(地元)の子ども達だけを救うのではなく「世界中の子どもたちに1万人分のポリオワクチンを送り、尊い小さな命を救おう」と行ったのが1万人プロジェクトでした。

募金額 **200,000円 (2月22日)**

### 株式会社スズカ未来

#### 私たちの小さな思いを 社会的な真の弱者に届けよう！



大きなことは出来ませんが、気がついたとき。会社でのイベントがあったとき。個人的にいいことがあったとき。ゴルフに1回いくたびに。出張から帰ったときに。各々の小さい思いが集まってきます。決して大きな額ではないかも知れませんが、私たちは良い環境で仕事が出来て、食べることも不足なく、スポーツ、ショッピング、休日を楽しみ、本当にありがたい時代に生きているのだと思います。世界には戦争があり、生きることが精いっぱいでも水も食料も薬もワクチンも衣服もない、想像が付かない状況があります。私たちの小さな思いですが、社会的な真の弱者の方に寄付が届けられたら、嬉しいと思います。

募金額 **873,539円 (3月4日)**

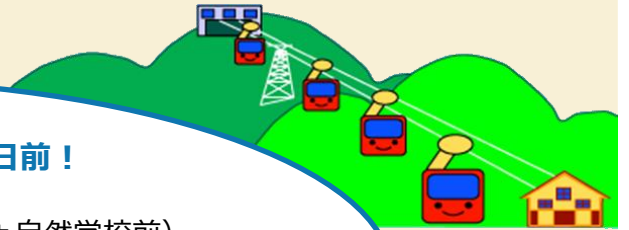
## チャリティイベント

～山頂（サミット）で海を食す～

### 世界につながる志摩の海 伊勢志摩サミット開催まで105日前！

2月11日（木）御在所山上公園（ございしょ自然学校前）  
で開催。百五銀行菟野支店と三重県漁業協同組合連合会の  
鳥羽石鏡漁港、漁師の佐藤達也さんのご協力で海の幸  
（イワシ・カワハギ・サメの干物、アオサ汁）を振舞いました。  
（御在所ロープウェイ主催）

**募金額 11,428円**



### チャリティーゴルフコンペ

4月12日（火）にローモンドカントリー  
倶楽部にて行いました。参加者は20名  
優勝は松下さん、準優勝は中野さんでした。  
（三重県ユニセフ協会主催）

**募金額 53,000円**

### ふれあい春の牧場まつり

4月23日（土）、24日（日）  
ふれあい牧場にてブース出展  
駒づくりや水がめの重さを体験  
（四日市酪農主催）

**募金額 10,358円**



### 学習会

学校法人玉村学園 一志学園高等学校（2016年4月に開校した通信制高校）

#### （感想）

- \* 自分はすごく平和な生活をしているんだと、改めて思いました。なので、これからは食べ物のありがたみ、水のありがたみ、家のありがたみに感謝してこれからは生きていきたいです。そしていつかは、人の役にたてる人になりたいです。これからは、人々みんなが元気に平和に過ごせる世の中になったらいいなと思いました。
- \* 毎日毎日5秒に一人命を失っていると思うと心が痛くなった。
- \* 自分はボランティアでユニセフの協力をすると決めたわけではないが強くやらねばという思いが生じた。少しでも自分の力が手助けになるなら俺は実行すると思う。
- \* 私はボランティア活動などが好きでたまにするのですが、まだまだ足りないと改めて感じました。みんな同じ人間、誰もが同等な立場、発言を出来る世界にしていきたいと思いました。



2月16日（火）津商業高等学校の生徒12名が県協会の事務所を来訪。児童労働について学習しました。

**駒田会長が  
三重テレビ  
に出演！**

6月22日（水）18時からの三重テレビ番組「とってもワクドキ！」輝人のコーナーに駒田会長が出演し、三重県ユニセフ協会の活動が紹介されました。



学校に通えない子どもたち

シリア

戦火の中で教育の機会を奪われる子どもたち

シリア北部、アレッポの近くにある小さな村、テートで暮らす16歳の羊飼いのラシッドくんとモハメド・ノアくんにとって学校はもう過去の思い出です。「アレッポで紛争が始まってから、村の中学校が閉鎖されてしまいました」と、12歳で学校に通えなくなったモハメド・ノアくんが語ります。生徒や先生が避難したり、学校が損壊したりしたことで、アレッポの近くの人里離れた農村部にある多くの学校が閉鎖されています。シリアでは、4校に1校にあたる約5,000校の学校が機能を果たしていません。アレッポ小学校に通うことができない子どもの数は、2000年には世界で1億人でしたが、2013年には5,900万人にまで減っています。しかし、こうした改善の一方で、子どもたちの教育を阻む大きな障壁となってきているのが「紛争」です。現在、初等教育を受けられない子どもたちのうち、およそ50%が紛争の影響下で暮らしており、その割合は年々増大しています。紛争地の子どもたちの多くが、暴力や避難生活による危険に絶えずさらされるだけでなく、自立に必要な読み書きも身につけられないまま大人になっています。



© UNICEF Syria/2016/Fouadi NGO  
アレッポ近くの小さな村テートで、羊飼いをしている。

教育を続けられるように、自己学習プログラムを提供



© UNICEF Syria/2016/Fouadi NGO  
プログラムで使用する教材を用いて勉強するラシッドくんとモハメド・ノアくん

「情勢不安や避難などで通常の学校生活を送ることができない子どもたちにとって、大切な教育の機会となっています」と、アレッポで支援活動を行うユニセフ教育担当官のヤーセル・メディが語ります。「自宅や地域の学習センターでも勉強を続けられるよう、プログラムで使用する教材はシリアの国家カリキュラムに沿って作られています。それらを勉強することで、国家試験への準備ができるのです」学年末になると、自己学習プログラムで勉強をした子どもたちはいずれかの公立学校に行き、国家試験の受験申請をし、修了証書を手にすることができます。ユニセフはパートナーと協力し、アレッポ市内および郊外、ハマース市内および郊外、ダマスカス郊外で暮らす3万人の子どもたちに自己学習プログラムを行っています。  
(日本ユニセフ協会ホームページより)

主な活動予定

日時	場所	テーマ
8月20日(土)~8月28日(日)	御在所山頂公園 (ございしょ自然学校)	ユニセフDAY ~世界のこどもたちに出会う夏休み~
10月15日(土)	こどもの城	世界手洗いデー
10月16日(日) 10:00~16:00	津市お城西公園 リージョンプラザ	多文化共生啓発イベント みつめる かんじる ふれあう ~あなたがつくる 笑顔のつながり~
10月29日(土) 10:00~16:00	三重県生涯学習センター	地域「学」フェスティバル

発行：三重県ユニセフ協会

(事務所開設日：月・水・金 10時~17時)

TEL：059-273-5722 FAX：059-273-5758

〒514-0009 三重県津市羽所町379 コープみえ本部ビル1F

E-mail: [mie-unicef@sweet.ocn.ne.jp](mailto:mie-unicef@sweet.ocn.ne.jp) ホームページ：<http://www.unicef-mie.jp>